



# Sonic

## Interaction

音と映像が織りなす デジタルアート・コンサート

2024年3月15日[金] ゲーテ・インスティテュート東京 ホール

# 2024 vol.1

## 3.15 fri

### Goethe-Institut Tokyo

19:00開演 (18:30開場) 入場料: 1,000円 (高校生以下無料)

# 2024

# sonic

藤井久隆+上原彩愛+印南智樹

《音たっちくん》

インスタレーション

川原紫響

《i》

クラリネット、パフォーマンスと  
ライブエレクトロニクス

富菜智子(クラリネット)、大野純(声)

荒尾斗羽

《食べる肌、床の時間》

パフォーマンス

勝木路子(パフォーマンス)

金原直哉

《幻想への後奏曲》

電子音響

佐藤祐毅

《Components of Harmonic Overtones》

ヴァイオリン、トロンボーンと  
ライブエレクトロニクス

水口七海(ヴァイオリン)、小泉秀平(トロンボーン)

黒雲愛子

《Whispering Specters》

ダクソフォン、オペラゴングと  
ライブエレクトロニクス

西崎彩衣(ダクソフォン)、渡邊響(オペラゴング)

室井なな

《すとりべりーしょーとけき》

オーディオビジュアル

杉本日菜子

《ribbon》

パフォーマンス

上枝ちひろ(パフォーマンス)

小嶋瑠記

《蟹に魅せられた重機、あるいは、鬼。》

チューバとライブエレクトロニクス

山本優宏(チューバ)

このコンサートで望まれるのは、出品者それぞれが自由に現時点で生み出すことのできる作品が集まることです。

そして過去のSonic Interactionにも、そのような思いが込められていたことに気がきました。

そこで私たちは今回、コンサートに枠組みを設けるのではなく、

物産展のように、フラットな場を用意する形でSonic Interactionを開催したいと考えました。

私たちがイメージする物産展は、その土地や産物の良さを伝えようとする、さまざまな異なる人と思いが集まる場です。

そこにいろんなきっかけから興味を持った人が訪れます。

各々が異なる手段と思いで自身の表現を伝えようとする、私たちの開催するコンサートに通じる部分があるのではないのでしょうか。

一方、コンサートの運営上、ある一定の枠組みを定めることは、方向性を明確にするための非常に効率的な手段とも言えます。

しかしその枠組みは、ひとつひとつの作品に、作者の求めるものとはまた別の新たな文脈を与えかねないとも考えました。

これは決して悪いことではありません。しかし、自身の表現を伝えようとする立場でもある私たちがコンサートの運営を考えた時に、作品に与える影響より運営の効率を優先するのは、求めるものではありませんでした。

様々なきっかけからご来場をいただく皆様へ、物産展をぶらぶらと見て回るように、

ひとつひとつの作品を味わったり発見したりできる、楽しみと出会いに満ちた場となることを期待しております。



チケット予約：  
PassMarket

お問合せ：国立音楽大学コンピュータ音楽研究室

042-535-9562 si.kcm-sd.ac.jp

SNS：@sonic\_interaction (Instagram) @SI\_information (X)

企画・制作：Sonic Culture Design

協力：ゲーテ・インスティテュート東京

